

「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成 31 年 4 月 10 日

仕事の内容	野火止用水保全対策事業					
担当部署・課長名	環境	課	緑化推進	係	課長名	宮鍋 和志

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。	施策番号	4 - 5	-
【施策名】 緑の保全・創出	総合計画書 (ページ)	91	

予算名	款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	目	7 環境保全費	事業	6 野火止用水保全対策事業費
-----	---	-------	---	---------	---	---------	----	----------------

1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。	① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)
	野火止用水に訪れる市民 →	すべての市民
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]	② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)
	一人でも多くの市民に野火止用水、遊歩道を利用してもらい、水辺の自然に触れてもらい、健康で快適な生活を営んでもらう。 →	野火止用水に訪れた市民数
	③ そのために何をしましたか。	③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)
	昭和59年に清流が復活した野火止用水、野火止遊歩道、野火止緑地の維持管理 →	<ul style="list-style-type: none"> 野火止用水 法面草刈り 1回、河床清掃 2回、落葉清掃 3回、水路内落葉処理 8回 野火止緑地 草刈り 2,389㎡、清掃 4回 野火止遊歩道 清掃 24回、除草 2回

		単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度目標	平成32年度目標
2 指標の推移	対象指標	①の数値	人	85,857	85,698	85,337	
	成果指標	②の数値	人	未把握	未把握	未把握	
	目 標	②の目標値					
		目標値設定の考え方					
	活動指標	③の数値		7,639,544	7,377,048	7,034,930	

3 経費	事業費(実績)		円	9,748,231	9,745,166	9,597,000	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外)年間単価は、8,244,000円 時間単価は、4,200円で計算してください。 【算出根拠】平成29年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)
	財源	一般財源	円	7,565,551	7,573,286	7,421,880	
		特定財源	円	2,182,680	2,171,880	2,175,120	
		(うち受益者負担)	円				
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	1.3	1.3	1.3	
		所要人数(再任用)	人	1.3	1.3	1.3	
	職員人件費(再任用以外)	円	10,747,100	10,728,900	10,717,200		
	職員人件費(再任用)	円	4,970,308	3,926,000	3,924,700		
	事業費+人件費	円	25,465,639	24,400,066	24,238,900		

この仕事における市の裁量	市の裁量は大きい
--------------	----------

4 環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。	昭和59年に清流が復活した野火止用水を都が歴史環境保全区域に指定し、維持管理を沿川6市に委譲した。
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。	樹木が大きくなり、隣接住宅の日照状態が悪くなっている。

仕 事 の 内 容	野火止用水保全対策事業			
担当部署・課長名	環 境	課	緑化推進	係 課長名 宮鍋 和志

5 市 民 等 の 意 見	この仕事に関して、平成30年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について			
	・樹木による日照状態の悪化			
6 市 民 協 働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択。（複数回答可）			
	取り組んだ	取組手法	⑧その他（ボランティア）	
			【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）	
(2)平成31年度に向け、さらに適した協働の形態とするための「考え」又は「気付いた」点				
7 課 題	(1)「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート 「7 課題(2)」の内容			
	樹林地を健全に保つため萌芽更新を行う必要がある。			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成30年度に実施したこと。			
	樹木の剪定及び伐採			
(3)(2)を踏まえた今後の課題				
全体的な樹木の剪定及び伐採				
8 今 後 の 方 向 性	(1)仕事の方向性（「7 課題(3)」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など）			
	年度ごとに剪定及び伐採する範囲を決める。			
	(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等			
	・剪定及び伐採の年単位のスケジュール ・維持管理に係る予算の確保 ・野火止保全対策協議会で課題とし、東京都に要望する。			
(3)改革・改善案による期待成果				
上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。				
成果	成果を向上させる。		経費	仕事の経費を増加させる。